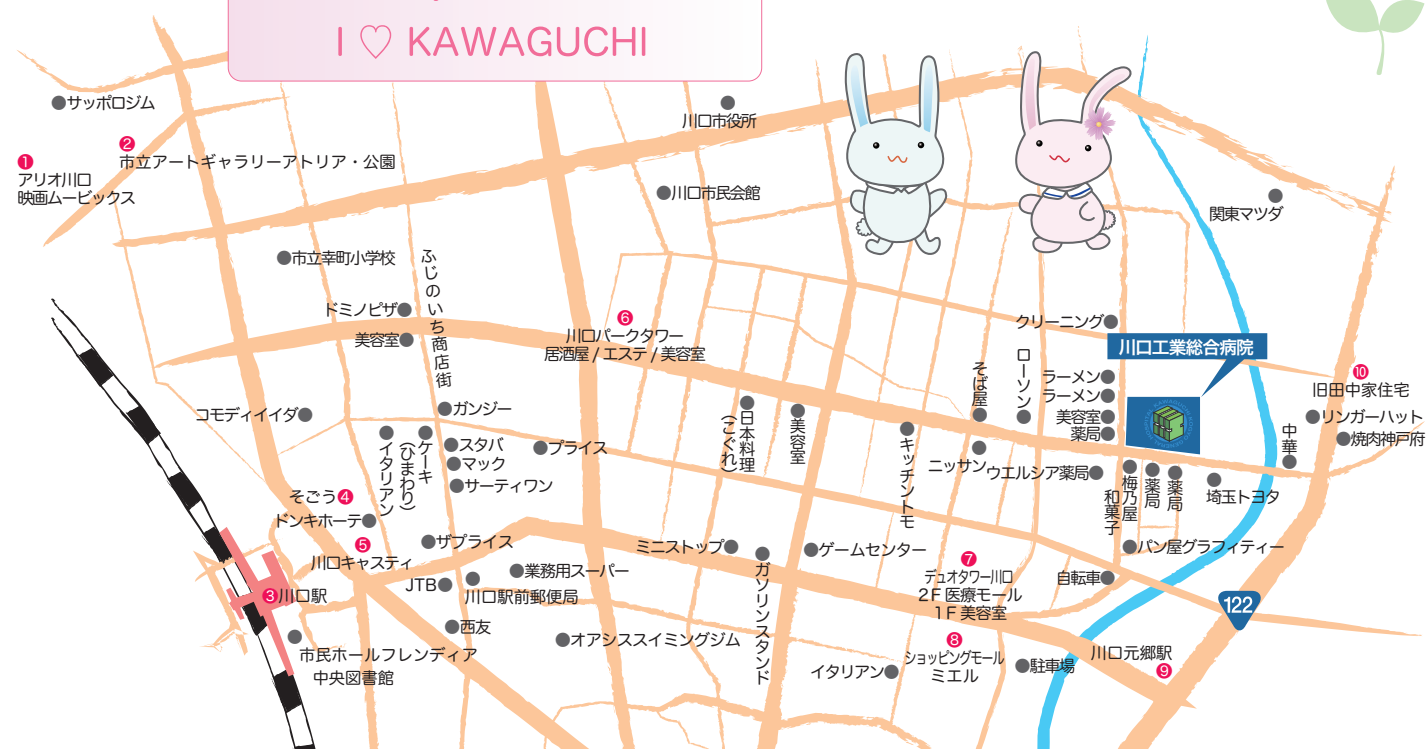


川口街ある記

I ♥ KAWAGUCHI



交通

- JR京浜東北線「川口駅」下車 徒歩15分
- 埼玉高速鉄道「川口元郷駅」下車 徒歩5分
- 「川口駅」東口バス停11番・12番・14番乗り場(国際興行バス・東武バス)のいずれかに乗車[約7分]→「川口工業総合病院」下車 徒歩0分



医療法人 新青会 川口工業総合病院 TEL.048-252-4873 FAX.048-252-4865
〒332-0031 埼玉県川口市青木1-18-15 <http://www.kogyohsp.gr.jp/>

ひとりひとりに。

[看護職員募集案内]



平成25年秋完成予想図



医療法人 新青会
川口工業総合病院

患者様のために、私たち看護師は家族のようにいたい。

川口工業総合病院は1959年に発足してから、川口・鳩ヶ谷地区に医療を提供し、地域貢献を果たしてきました。今後も、より一層患者様に信頼される患者様中心の医療を提供できるよう、2010年6月1日より医療法人化し、医療体制の整備・充実につとめ地域に必要な不可欠の医療を提供させて頂いております。

小規模の病院でも、大規模の病院でも、組織の中で一番人数が多いのは看護師です。病院が成り立つために、一人ひとりの看護師にチカラを発揮してもらうことが大切になります。資格を持っている医療人の一人として忘れてはいけないのが、“患者様視点”です。資格を持っているプロとして恥じないように、「あたたかい、心のかよう看護」をしてほしいです。

もちろん、プロの一員となるためには、卒後の新人看護師は知識を身につけ、経験を積み重ねる必要があります。院内外研修での学びの場はありますが、日々の患者様との会話も学びの場です。

会話の中にある訴えから、「どういうことだろう?」という意識で接する。新人看護師が入職した時に必ず言わせてもらっているのは、「自ら学ぶ力・自ら考える力・自ら感じる力・自ら気付く力」この4つの力を付けてほしい。そうすれば、臨床の現場で一番必要な知識を学び、経験を積めます。ちょっとした意識、それがスタートラインになるはずです。

「患者様の視点に立ち、チカラを発揮できる環境」を作るのは、部長や師長の仕事です。常に、新人看護師やベテラン看護師たちと同じ目線になること。管理職であれば特に目線を低くすることが必要です。いつも顔を見たり話をかけたり、一人ひとりとコミュニケーションを取る。さらに、師長会で決まったことは、看護師全員に報告し共有する。看護部が一つになるために、一人ひとり、一つひとつを大切にしていきます。職場も家も同じもの。一つ屋根の下にいるのですから、家族のように関わり合いたいと私は思っています。



認定看護管理者
看護部長 渡邊 くみ子

病院概要

- 開設 1959年川口工業保険組合の直営病院として設立
2010年6月1日医療法人新青会川口工業総合病院に名称変更
- 院長 矢口 輝仁
- 看護部長 渡邊 くみ子
- 病床数 199床(入院基本料7対1)DPC対象病院
5病棟・手術室・内視鏡室・救急部・訪問看護室・健康管理科・医療連携室
- 承認基準 看護配置(7対1看護)救急指定・DPC対象病院・運動療法 他
- 診療科目 内科、循環器科、神経内科、呼吸器内科、アレルギー科、消化器センター外科、整形外科、リウマチ科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科、健康管理科、救急部
- 職員数 397名(パート含む・H24.6.1現在)
- 外来患者数 506.3人/日(H23年度)
- 入院患者数 160人/日(H23年度)
- 福利厚生 看護師寮、奨学金制度有り、他

病院理念

地域とともに歩む医療

～愛と誇りをもって信頼される病院を目指します～

基本方針

- ①地域住民、地域医療機関とともに密着した医療の提供
- ②患者様や家族とともに取り組む医療
- ③職員がともに尊重しあい協力して行うチーム医療

行動指針

1. 二次救急医療機関として地域に貢献します。
2. 急性期病院として他医療機関との連携を推進します。
3. 患者様の権利を尊重しプライバシーの保護に努めます。
4. 専門性を高める人材育成に取り組み質の高い医療を提供します。
5. 安心信頼される医療提供のための健全経営に努めます。

看護部理念

川口工業総合病院の看護師として、
地域の方々に選ばれる『あたたかい、心のかよう看護』と
『安全で 行き届いた質の高い看護』を提供します。

看護部 基本方針

1. 急性期病院の看護師としての役割を担い、地域連携に貢献します。
2. 患者様の立場を尊重した安全、安心を考慮した看護を実践します。
3. 看護の立場から病院経営、運営に参画します。
4. 看護師個々の力を充分発揮してチーム力を高め魅力ある職場づくりをします。
5. 研究意欲を養い、自己啓発と共に後輩指導の育成をします。

平成24年度 看護部目標

1. 安全で質の高い看護を提供します。
 - ・電子カルテの操作を習得し、看護ケアの質の向上を図ります。
 - ・受け持ち看護の実践によりベッドサイドケアの充実に努める。
2. 働きやすい・安心できる職場環境をつくります。
 - ・お互い共有・共感し仲間との仕事を協力し合う。
3. 病院経営への参加
 - ・病床稼働率のアップに積極的に取り組む。



教育理念

看護部理念に基づき、あたたかい看護、
質の高い看護を提供できる看護師を育成する

平成24年度教育目標

1. 安全、安心な看護を実践して行く為の能力「知識・技術・態度」を養う。
2. チーム医療の一員として自律した看護師として役割遂行できるよう支援する。
3. 後輩、看護学生に対して適切な指導ができる。
4. 業務改善を目指した研究的姿勢を持つことができる。

川口工業総合病院の看護師像

1. 一人ひとりが状況に応じた適切な判断と行動ができる看護師である。
2. 一人ひとりがあたたかい、思いやりのある看護師である。
3. 一人ひとりが自分に責任を持って行動ができる看護師である。
4. 一人ひとりが自ら学ぶ姿勢を持っている看護師である。
5. 一人ひとりが医療人としてのプライドのある看護師である。

院内卒後研修一覧

看護部の理念を遵守した看護師を育成する。 全体研修

1. 看護の質を統一し、向上をはかる。
2. 自己啓発の必要を認識する。
3. 社会の求める看護に適応できる能力を養う。

1. 専門職として主体的に学習をする。
2. チーム医療の一員として役割と責任を自覚し、リーダーシップが発揮できる。
3. 看護の質向上を目指した研究的取組みができる。
4. 効果的な卒後研修につながる学習の場とする事ができる。

卒後1年目

1. 患者中心の看護が提供できるよう知識・技術・態度をマニュアルに沿って修得する。
2. 院内で企画された研修や勉強会に積極的に参加できる。
3. お互いの経験を共有する場として、視野を広げ、豊かな感性を磨く。

卒後2年目

1. 事例をまとめて院内発表することができる。
2. 日々の看護実践を振り返り、事例研究を通して今後の看護に活かすことができる。
3. ①他部署の役割を理解できる。
②プリセプターシップを理解できる。

卒後3年目

1. 看護研究に取り組み一連の流れを実践し、発表できる。
2. 日々の看護実践の中から研究問題を見出すことができる。
3. 組織の一員として後輩指導に眼を向けることができる。

卒後4年目

1. リーダーシップを理解し、自部署で実践できる。
2. リーダーとして自己の課題を明確にし発表できる。

卒後5年目

1. チーム医療メンバーが楽しく働ける方法を学ぶことができる。

中堅看護師

1. 自分のやりたい看護を見出す。
2. 専門性を看護実践に活かす。
3. 何事も自主的に行動し計画に沿って進めていく。

卒後1年目研修プログラム



4月	入職者オリエンテーション	集団研修
5月	院外研修(新人看護職員研修) 看護協会について等 テーマ「五月病を乗り切る!!」	
6月	院外研修(新人看護職員研修) 素敵な職業人を目指そう(接遇) 院外研修(新人看護職員研修) 新人のための感染管理/創傷ケア ME機器の取り扱いについて ＜その1＞(輸液ポンプ・シリンジポンプ)	
7月	「THE・体験夜勤!!」 全員が所属部署でプリセプターの勤務に合わせて準・深夜勤務を体験する。 医療ガス(酸素ボンベなど)の取り扱い方法	
8月	死生観について(エンゼルケア含む) ワークショップ・テーマ「命の大切さを考える」	
9月	院外研修(新人看護職員研修) 新人のための臨床検査の基礎知識	
10月	ME機器の取り扱いについて ＜その2＞(人工呼吸器)	
11月	ワークショップ・テーマ「モチベーションアップ!」 ①3分間スピーチ(アサーション含む) ②フリーカード法	
12月	心電図について	
1月	急変時の対応 ＜その3＞復習演習(BLS, ACLSなど)	
2月	1年間のまとめ ワークショップ・テーマ「患者様からの学び～事例の振り返り～」 3分間スピーチ(レポート提出)、反省会(アンケート記入)、座談会	

部署・病棟紹介

看護部長

副看護部長

2A病棟 (外科)

3A病棟 (婦人科・耳鼻科・眼科・皮膚科・整形外科・共用)

3B病棟 (整形外科)

4A病棟 (急性期内科・循環器・呼吸器)

4B病棟 (一般内科・慢性期内科)

手術室・中央材料室

外来Aチーム(内視鏡室・消化器センター・皮膚科・泌尿器科)

外来Bチーム(QQ部・カテ室・内科・婦人科・耳鼻科)

外来Cチーム(整形外科・眼科・訪問・健康管理科)

委員会

教育委員会
看護部事故防止委員会
退院調査委員会
調査委員会
プリセプター委員会
実習指導者会
陸 会
褥瘡対策委員会
ICT(感染対策)委員会
クリニカルパス委員会
DPC委員会
安全委員会(事故対策・ICT・労働安全)
CS委員会
NST委員会
災害対策委員会

2A病棟

2A病棟はベッド数33床の外科病棟です。手術を受ける急性期の患者様の他に、化学療法を受ける患者様や終末期の患者様も多く入院されます。

私達看護師は患者様を中心として、医師・薬剤師・家族などとコミュニケーションを図り、笑顔で思いやりのある安全な看護を提供しています。



3A病棟

3A病棟は、混合病棟です。耳鼻科・眼科・婦人科をはじめ全科に対応しています。この病棟でしか短期間に様々なことを学べる部署はありません。パワフルな師長・副師長に加え主任を中心に老若男女問わず元気で明るい病棟です。

川口工業総合病院の縁の下の方の力持ちと自負できるように、スタッフ一同、あたたかい心のかよう看護を目指しています。



3B病棟

3B病棟は50床、主に下肢の人工関節やスポーツ外傷の手術を目的とした幅広い年齢層の整形外科患者様が入院しています。

看護師は比較的若い年齢層です。病棟全体が明るく、チームワーク抜群です。専門的知識・技術を磨き、患者様が一日も早く社会やスポーツ等の現場に復帰出来るように願い、毎日看護ケアを提供しています。



4A病棟

4A病棟は、主に循環器や呼吸器疾患の患者さまが入院されている内科病棟です。

日々の清潔・排泄の援助や高度医療のケアなど、多岐にわたる業務に奮闘する毎日ですが、看護師一人一人が、協力しながら思いやりをもって患者さまのケアを提供しています。

また、エキスパートナースを目指すため、循環器の先生との勉強会を行って自己研鑽しています。



4B病棟

4B病棟は、ベッド数42床の、脳神経内科を中心とする病棟です。

高齢の患者様の多い病棟ですが、患者様から学ぶことも多く、その学びを日々のケアに生かせるよう努力しています。

スタッフは20代から50代と幅広い年齢層ですが、お互い刺激しあって、病棟を盛り上げています。各自がそれぞれの看護観をもちながら明るく思いやりのある看護を提供しています。



手術室・中央材料室

当手術室は、4室あり、年間1,800件の手術を行っています。

整形外科関節鏡手術では日本トップクラスの症例数を実施し、専門的な技術・知識を勉強し手術看護を実践しています。入院手術の際には、全例手術前にお部屋に伺い、患者様の不安を最低限にできるように、また、個々の患者様に合わせた、あたたかい看護を目指しています。



外来Aチーム[内視鏡室]

内視鏡室は師長を含め看護師4名と主に内視鏡ファイバーの管理・洗浄・消毒する業務を担っている看護助手1名の合計5名で勤務しています。

内視鏡検査・治療は23年度年間件数は『外科1029件・内科1278件、総件数2307件』でした。月に200件以上施行しています。内視鏡室の看護は専門性が問われるところです。私たちは少しでも検査を受ける患者様が不安を抱かないように「安全で行き届いた質の高い看護」を全員で心がけ実践しています。



外来Bチーム[救急部]

当院救急部は発足して3年目になりました。救急担当医師を中心に救急隊との連携を密にチーム医療を実践しています。日々の業務においては、救急対応の訓練として知識、技術を高め患者様の社会復帰に繋がるよう日々努力をしています。また、心臓カテーテル看護業務も行っております。それぞれ学会・外部研修参加や資格習得などの自己の能力も高めています。ON・OFFのメリハリをつけながら救急部の業務を楽しく活動しています。



外来Cチーム[訪問看護部]

当院の訪問看護部は、患者様が退院後に安心して在宅での療養生活が続けられるように支援させていただいています。外科系、内科系疾患の方、要介護認定を受けている方、身体的生活援助が必要な方のご自宅に訪問しています。日常生活を送りながらの療養生活を長期にサポートし、ケアの質向上をめざして、専門的な知識と技術を発揮し、看護を実践できる部署です。現在、看護師3名でチームワーク良く頑張っています。



写真:職員によるイメージ作成

先輩看護師の声



新人看護師として 4B病棟

松浦麻衣子 坂本知美 濱野成江

この春、私たちは国家試験に合格し、新人看護師として日々、先輩方から温かい指導を受けながら勤務しています。今はまだ、半人前で先輩方に頼りっぱなしではありますが、それでも、少しずつ成長しているのかな、と思うことがあるようになってきました。知識や技術はまだまだ勉強中ではありますが、学生時代にはなかったような学習意欲が芽生え、頑張っています。



松浦麻衣子／濱野成江／坂本知美



柴田恵利／細田文雄

卒後3年目になって

3B病棟 細田文雄 柴田恵利

入職してから2年が経ち、4月からはプリセプターを任されることになりました。自分のことだけでなく後輩にも目を配らなければならないので、今まで以上に感じる責任は大きくなりました。

まだプリセプターとして未熟なところもありますが、先輩方にアドバイスを頂きながら日々後輩指導にあたっています。私達もこの機会に初心に戻り、プリセプティと共に新しいスタートを切るつもりで一緒に成長できたらよいと思います。



飯塚弘美

卒後5年目の看護師として

3A 飯塚弘美

私の看護師スタートは、社会人を経験し子育てをしながらの資格取得をしました。当時8歳だった娘も高校3年生です。私も入職して5年目になりました。混合病棟は、様々な疾患をもつ患者様との関わりがあります。看護も多種多様で、やりがいを感じる病棟です。後輩スタッフとも声を掛け合いながら、固定チームナーシングを行なっています。これからも病棟を支えていく一員として日々成長できるように頑張っていきたいと思っています。



大森寛子

卒後2年目になって

4A病棟 大森 寛子

私は循環器、呼吸器疾患で入院される内科病棟に配属されました。特に循環器は苦手な分野で不安でした。しかし、先輩が優しく、丁寧に教えてくれたため、少しずつ出来ることが増えました。また、困っている時に先輩が声をかけてくれ、毎日楽しく業務を行っています。今年2年目になり、余裕も出てきたため、患者さんとさらに触れ合う機会を増やし、不安の軽減に努めていけるよう、頑張りたいです。



斉藤ゆみ／篠田香菜恵

入職後2ヶ月経過して

2A病棟 篠田香菜恵 斉藤ゆみ

私たちは、2A病棟に配属され2ヶ月が経過し、少しずつ病棟の雰囲気にも慣れてきました。業務も徐々にできることが増え、自分でできたことが自信に繋がり、日々充実感をもちながら働いています。また、プリセプターや病棟看護師一人一人がとても優しく、困った時や分からないことが出てきた時に、親身に話を聞いてくださり、アドバイスをしてくれます。早く2A病棟の戦力となれるように日々励んでいきたいと思っています。



馬場啓子

主任に昇進して

外来Bチーム 馬場 啓子

当院では、平成23年7月より循環器救急が開始され緊急カテ24時間対応をしています。カテ業務に関しては、やりがいを感じながら日々の業務に励んでいます。緊急カテ・急変時の対応などは先輩看護師から指導を受け、専門的知識や技術の向上に努めています。今回主任に昇進し、今まで得た知識・技術を指導に役立て、スタッフみんなで成長出来るよう努力していきたいと思っています。

主任に昇任して

4B病棟 知野 由佳

私は、3月から主任看護師に昇任しました。主任看護師の業務とは、看護師長業務の補佐、師長とスタッフの橋渡し役、働きやすい環境作りだと思っています。スタッフ全員が、仕事に責任・やりがいを持ち、明るく思いやりのある看護が提供できる病棟にしていきたいと思っています。まだ、未熟な主任看護師ですが、師長やスタッフの皆さんの力を借りながら、主任看護師として頑張っていきたいと思っています。

「中堅看護師として手術室の役割」 手術室 鏡木 幹子

手術室看護師は、患者・家族の思いを受け止め、医師や他の医療スタッフと協力して、手術が安全かつ円滑に進行するために専門的な知識と技術を必要とします。中堅看護師になるとさらに自主的行動と周囲への注意を求められます。そして、新人看護師の育成やリーダー業務を行うようになります。手術の進行によって、次の手術の入室時間や担当看護師の決定、医師との打ち合わせなど直前まで、細心の注意を払って、トラブルがないように心がけています。



鏡木 幹子

中堅看護師として力を入れていること 4A病棟 網島美由紀

私の勤務している病棟は、循環器急性期病棟であるため急変リスクの高い患者様が多く、スタッフ皆、常に緊張感を持って業務にあたっています。そんな緊張感の強い現場だからこそ意識して心がけていることは「明るく笑顔ある職場」です。中堅となるとリーダーとしての指導力、調整力、交渉力を発揮することが必要とされ自問自答の毎日ですが尊敬できる上司と信頼できるスタッフに囲まれ私自身充実した毎日です。職場を楽しみと思えるかつまらなく感じるのは自分の行動次第で変わると思います。お互いの信頼関係を築きつつ皆で学び合い、助け合い、楽しい職場風土を作っていけたらと思います。



網島美由紀



相澤紀子

新副師長として

3B病棟 相澤 紀子

整形外科病棟は、手術後の患者様が希望する生活への早期復帰を目指しています。専門的知識を持ったスタッフ一同が指導やケアを、日々の業務として楽しく行っています。副師長として、病棟環境は病棟で働くスタッフに大きく影響すると考えます。師長と車の両輪の関係を保ち、物事をポジティブに表現する事で病棟全体のやる気につなげ、看護師個々の働く環境を考慮し、落ち着いて働きやすい職場環境を心掛けています。



辻本美津子

実習指導者として

3B 実習指導者 辻本美津子

院外の実習指導者研修に参加させていただき指導者として4年目となりました。学生と関わる中で、共に驚き・学び・成長自分自身もとても日々充実した実習指導を行っています。患者さんと直接関わる実践部分を病院内で体験し、そこから「看護っていいな」と思ってもらえたとき本当にうれしく思います。今後も学生が看護の道を選んで良かったと思うような実習環境や喜び・感動を提供していけるようにがんばっていききたいと思います。



知野由佳